

主要産地における令和4年産水稻の生育状況等について 第1報 (令和4年5月25日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年5月25日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	(参考)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		
北海道	(育苗・移植)	【生育状況(5月15日現在)】 (全道) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はやや良。また、一部地域で移植作業が始まった。(北海道農政部 5月20日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高く、降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 3月16日) (出典資料は以下同じ)
青森	(移植)	・5月15日現在の田植進捗は、県全体で20%となっており、平年より16ポイント高かった。県全体の田植始めは、平年より3日早い5月13日であった。 (青森県 5月17日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「つがるロマン」及び「あきたこまち」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まつしぐら」が増加傾向にあり、令和4年産も同様の傾向になるものと考えられる。
岩手	(移植)	【5月19日現在】 ・5月19日現在の田植の進捗率は県全体で66%となっており、ほぼ平年並みの進捗。 ・地帯別では、北上川下流70%、東部72%で間もなく終期(90%)を迎える見込み。 また、北上川上流は46%でほぼ盛期に達しており、北部は27%で間もなく盛期を迎える見込み。 ・各地域とも、概ね適期内(5月25日まで)に終期を迎える見込み。 (岩手県 5月20日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「釜河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(移植)	【5月19日現在】[県全体の平均] 5月19日現在の県全体の田植進捗率は89.2%で、間もなく田植終期※に達する地域もある。 (宮城県 5月20日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田	(移植)	(由利) 5月15日現在、田植作業の進捗率は38.1%。盛期(進捗率50%)は平年より1日早い5月17日。(5月20日付) (北秋田) 5月15日現在の作業進捗状況は、田植が3.0%(平年3.7%)、始期が5月17日。(5月20日付) (山本) 5月15日現在の田植作業の進捗状況は、60.2%(平年同期は49.4%)となっており、5月19日に盛期(全体の50%終了)を迎えている。(平年比-1日)(5月23日付) (平鹿) 田植作業の始期(進捗率5%)は5月20日、5月20日現在の進捗率は9.9%。(5月20日付) (仙北) 田植作業は5月21日に盛期を迎える見込み。(5月20日付) (秋田県農林政策課)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形	(移植)	(鶴岡田川)(直播情報) ・播種期以降は気温が高く経過し、イネだけでなく雑草の生育も早まっている。(庄内総合支庁農業技術普及課 5月20日付) (酒田飽海) ・春先から天候が概ね良好であったため、管内でも田植は終盤となっている。また、活着も良好のよう。 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 5月18日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。
福島	(育苗・移植)	【5月10日現在】 ・移植栽培の播種作業は、始期(5%終了)が4月8日(平年差-1日)、盛期(50%終了)が4月15日(平年差-1日)、終期(95%終了)が4月24日(平年差-1日)となった。苗の生育は概ね順調。4月下旬より田植が始まっている。 (福島県 5月19日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつる」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。
茨城			【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。

栃 木		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。
千 葉	<p>【5月20日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗期間中の3月下旬から4月下旬にかけては、気温がやや高く、苗丈はやや長めであったものの順調に生育。植付け後の4月下旬から5月中旬にかけ、低温・寡照条件で推移した。また、降水量が多かったため、深水となっていたほ場が見られた。 その結果、全体的に草丈は長く、莖数が少なくなっている。 なお、一部のほ場では、スクミリンゴガイの食害があり、藻類やホトライ、還元障害の発生が見られる。 <p><葉齢の進み(平年比)> 「ふさおとめ(4月20日種)」やや遅、「ふさこがね4月20日種」並、「コシヒカリ(4月20日種)」並、「コシヒカリ(5月1日種)」並、「粒すけ(4月20日種)」並。</p> <p>(千葉県 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始
新 潟		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。
富 山	<p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「てんたく」に位置づけられている「富富富」が増加傾向にある。
石 川	<p>【5月18日調査】</p> <p>【本田の生育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植始期は、加賀地区で4月26日、能登地区で4月29日、田植盛期は、加賀地区で5月3日頃、能登地区で5月5日頃となり、県全体の田植盛期は5月4日頃と平年並で、前年より1日程度早くなった。 田植後は好天に恵まれ、活着及び生育は概ね順調である。一部のほ場で強風・低温によるダメージが見られる。 <p>(石川県農林総合研究センター 5月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。
福 井		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。
長 野		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。
滋 賀		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。

兵 庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月22日～6月21日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡 山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>【早期稲】</p> <p>(育苗・移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極早生品種の移植始めは県東部、中央部で3月下旬頃であった。早生品種の移植始めは県中央部以西で3月下旬、東部で4月上旬、移植盛期は県東部、西部、中央部で4月上旬、中西部で4月中旬で、平年並であった。 ・移植時期が早かったほ場では低温の影響による葉先枯れなどの植え傷みが見られた。 ・育苗期間中の病害虫の発生は、県中央部で苗木枯病、苗いもち、籾枯細菌病が確認されている。 <p>(高知県病害虫防除所 5月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福 岡	<p>【5月17日現在】</p> <p>(育苗・移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ) <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。(最盛期は4月下旬) ・平年よりやや高い気温で経過しており、活着は順調。 ・【普通水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) <ul style="list-style-type: none"> ・現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。「実りつくし」の田植えは6月中旬の見込み。 <p>(福岡県農業総合試験場 5月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今年新品种「実りつくし」の拡大を推進している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの隣き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>【作物の生育状況 (4月中旬)】</p> <p>(生育)</p> <p>早期水稲は活着期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 4月28日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月21日～6月20日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和4年5月25日 15時時点での取り纏め。

引用資料:

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道農政部 5月20日)、
5月15日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 5月17日)、
田植の進捗状況(5月19日現在概況速報)について(岩手県農業技術普及課農業革新支援担当 5月20日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 5月24日閲覧)、
令和4年度水稲の田植状況について(5月19日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 5月20日)、
鶴岡・田川水稲直播情報第2号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 5月20日)、
酒田飽海のつや姫・雪若丸情報第2号(山形県庄内総合支庁酒田農業技術普及課 5月18日)、
主要な農作物の生育情報令和4年度第2号(福島県農林水産部 5月19日)、
水稲の生育と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月24日)、
令和4年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-1号)(石川県農林総合研究センター 5月20日)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 5月10日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月17日現在)、
令和4年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月19日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月19日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月19日気象庁)
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月19日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月19日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月19日広島地方气象台)
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月19日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月19日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月19日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月24日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月24日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月24日気象庁)
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月24日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月24日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日広島地方气象台)
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月24日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月24日鹿児島地方气象台)、

令和4年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)